

平成 19 年 11 月 14 日（水）、JAくま錦支所相良店内会議室において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

村内	16 名
村外	3 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・報告会はダムを造るのが前提にあるような気がする。森林の保水力は余り期待できない、川幅も広げられない、掘ることも堤防の強化もできない。後はダムしか無い、との内容であり、納得できない。
- ・基本高水流量を決めた小委員会の委員は国交省が指名した学識経験者であり、委員長は元河川局長で、国がダムを発注する水資源機構にいる。熊本県知事も納得しないままである。

【球磨川の治水対策について】

- ・球磨川沿いの私の田んぼの所だけ堤防が無い。ダムが放流するたびに田に水が上がってきて、ゴミなどが上がったり、稲を荒らしたりして難儀している。
- ・球磨川でも川辺川でも数年前までは、砂利屋に砂利をとってもらっていたので、水位も上がらなかったが、今ではこれまでに無いほど砂利が堆積している。木綿葉橋の上の方と、圃場整備を行った柳瀬橋の下流のに溜まった砂利を取ってほしい。
- ・対岸に住宅があるので、対岸よりも高くない堤防をつくってほしい。下流から水が入ってくる遊水地にしたらどうかと考えている。
- ・治水は、異常気象もあり非常に大変な事だろうと思う。いつ、どこで、どのような雨が降るか分からない状況が続くと思っている。
- ・相良村で毎年浸かるところがある。被害に遭うと致命的な問題になるので、治水については、ダムが必要であると考えている。堤防についても必要。溜まり過ぎた砂利も採取して欲しい。総合的な治水対策が必要。
- ・田が遊水地となっている状況を解消して欲しい。一般の関係無い人が来て、ダムは環境破壊と言われるがそうは思わない。田が無くなったり、家を流されたりすることは、その住民からすれば生活に支障を来す非常に大きな問題である。遊水地を解消する対策をして欲しい。このような問題があると後継者も育っていかないと思う。
- ・川辺大橋（永江橋）の下の掘削後、洪水時に下流側の流れが変わり、高原台地に水をあげるポンプ小屋にまともに水が当たる状態となっている。ポンプの取水口に土砂が堆積し、何度もポンプが故障したと聞いた。台地に一番水が欲しい時期に水が来ず、今年の米も不作だった。掘削による弊害も念頭において対策を検討して欲しい。
- ・五木村からダム絡みで相良村に来た。治水というものは、今後生命財産を守るために実施していかなければいけないことだと思う。ダムに振り回されたこの 40 年間は私個人としては人権侵害だと思っている。国に対してもそうだが、今更反対する人達についてもそう思っている。将来にかけての治水対策も大切だが、やはり過去、過程が大切である。治水については、地域により考え方が違うが、私はダム以外に考えられない。
- ・球磨村では、球磨川の川幅がほとんど無い。嵩上げも掘削も逆に環境を破壊すると思っている。ダムを造ってコントロールするしかないと思う。
- ・前回も同じ質問をしたが、昨年 7 月には川内川における鶴田ダムの緊急放水により、下流のさつま町は甚大な被害を受けた。ダムというのは、一定以上の雨が降ると大変な被害があるということもある。
- ・ダムの洪水調節効果について、仮に鶴田ダムが無かった場合と比較しながらの説明がなされたが、現実にはダムがあるわけで、仮定の話であるのでおかしいのではないか。

- ・平成 16 年に 2 回、平成 17 年にも 1 回、新村橋左岸側にある田んぼが浸かった。後始末などで大変な思いをした。仮に（川辺川）ダムが出来ていたならば、この田んぼは浸かったのか、という話が出ている。平成 16 年、平成 17 年の洪水で、ダムができていたら今の堤防の高さで洪水が防げたのかどうか教えて欲しい。
- ・平成 16 年、平成 17 年と連続で洪水に遭っている。砂利採取を禁止されているとのことだが、廻橋の下流の方に洪水のたびに砂利が溜まる。高尾野橋の土砂を撤去することによって、川幅が 100m まで広がるし、洪水が堤防を越して農地まで来ることも無いと思う。地域の要望として土砂撤去を早急をお願いしたい。

【球磨川的环境について】

- ・小さい頃から球磨川、川辺川で泳いだり、魚を取ったりしていた。昔はたくさん魚もいた。
- ・海も沖に出ないと魚やアサリ貝が採れない状態となっている。ダムを造れば環境破壊になる。川の水を汚し、水もぬるくなる。水が温かくなると、熱帯魚であるブルーギルやブラックバスも入ってくるのではないかな。
- ・球磨川流域では昭和 38～40 年頃にいっぺんに森林が伐採され、山の保水量が無くなった。
- ・河川の汚染はほとんど生活農業排水が原因。
- ・砂利問題については、国土交通省がダムサイトの区間の砂利を採らせたことが原因と考えている。石を採ったために、河床がどんどん掘れ、周囲も洗掘され、下流に砂利が溜まっている。
- ・人間が居ない方が一番環境に良い。しかし、構造物を造った以上は環境は壊れてしまう。壊れた環境はまた造らなければならない。海から山へと全てはつながっており、今後は山に広葉樹を植えることが必要で、今後何百年も続けていかなければならない。相良村だけ取り組めば良いという事ではない。一地域だけが発展するということはある得ないと皆さんも考えてもらいたい。
- ・地球上には 3% しか淡水は無い。水の質も落ちてきている。食料よりも水は大切。

【その他】

- ・人吉大橋について、人吉層に対する対策はどのようになっているのか。耐えられる構造となっているのか。
- ・地域の発展のためにも、五木村の人達のためにも、全て反対反対、ではなく、将来的なビジョンを見ながら皆で知恵を出し合って考えていく必要がある。知事にもお願いしたい。知事は説明責任と言って逃げている。本音はダム反対なのだろう。日本の国土や利水を考える上では、ダムを建設する方が良いと考えている。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

